

# 小児科



診療科長  
秋山 祐一

専門医資格等 日本小児科学会専門医  
専門分野 血液・腫瘍・予防接種  
得意疾患 心身症

## □ スタッフ

平成25年10月1日時点

|     | 氏名                    | 専門医資格等                                       | 専門分野         | 得意疾患            |
|-----|-----------------------|--|--------------|-----------------|
| 医 長 | 黒須 英雄                 | 日本小児科学会専門医                                   | 未熟児・新生児      | 小児発達            |
| 医 長 | 河田 興                  | 日本小児科学会専門医<br>日本周産期学会 新生児専門医<br>日本臨床薬理学会 専門医 | 未熟児・新生児      | 妊娠とくすり、新生児とくすり  |
| 医 長 | 浅井 康一<br>(2014/6/1から) | 日本小児科学会専門医<br>日本アレルギー学会 指導医                  | アレルギー疾患      | 喘息・アトピー、食物アレルギー |
| 医 師 | 石塚 哲也                 |  | 小児救急         |                 |
| 医 師 | 豊田 有子                 | 日本小児科学会専門医 日本内分泌学会<br>専門医                    | 小児内分泌代謝      | 低身長・甲状腺         |
| 医 師 | 北 誠                   | 日本小児科学会専門医                                   | 未熟児・新生児/小児全般 | 虐待              |
| 医 師 | 阿水 利沙                 | 日本小児科学会専門医                                   | 未熟児・新生児/小児全般 | 極小・超未熟児         |

## □ 診療科の特徴

|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 施設認定等 | 日本小児科学会研修施設<br>周産期(新生児)専門医暫定研修施設 |
|-------|----------------------------------|

1. お子さんの、心とからだの発達を重視します
2. スタッフ全員が未熟児・新生児から思春期までの診療がおこなえるよう研鑽しています
3. 小児期からもちこした疾患の診療に関与します
4. 御家族全体が健康であるように、配慮します
5. 長期入院の場合に学習の継続を重視します (院内学級併設)

## □ 主な対象疾患

1. 平成12年4月から新生児集中治療室 (NICU6床) を開設しました。  
赤ちゃんの診療、発達の評価、育児相談を大切にしています。
2. 産婦人科と密接に協力して24時間体制で赤ちゃんの診療を行っています。未熟児出生の可能性のある場合は小児科医師全員が妊婦さんの状態を把握出来るシステムが完備しています。赤ちゃんの診断治療に超音波診断を積極的に行っています。
3. 小児科病棟 (2-3病棟) では小児血液疾患、悪性腫瘍、慢性腎疾患、小児膠原病、難治性喘息、重症アトピー、神経疾患等の慢性疾患の入院治療を行います。院内学級に通学しながら治療を継続します。
4. 乳幼児の肺炎や脱水など短期の入院も積極的に取り扱っています。

## □ 診療(業務)内容

受精から胎児期、分娩、新生児、乳児、幼児、小児、思春期、結婚・妊娠までのライフ・サイクルを考えて小児科診療を行います。

このすべてに関して小児科では相談の窓口になります。遺伝相談、不登校、小人症、糖尿病、肥満、等の相談を歓迎します。

初診の場合は可能であればかかりつけの先生の紹介状を是非御持参下さい。

主な取り扱い疾患は以下の通りです。

- ・新生児・低出生体重児(2500g未満)
- ・小児血液疾患(白血病、血小板減少症、貧血)
- ・アトピー性皮膚炎、気管支喘息、膠原病
- ・小児腎疾患(血尿・蛋白尿)
- ・小児感染症全般
- ・小児心臓疾患
- ・小児内分泌疾患(甲状腺疾患・低身長など)
- ・小児代謝疾患(糖尿病・副腎過形成など)
- ・小児のてんかん、発達障害

## □ 診療実績(平成25年度)

入院患者数

| 1日平均患者数 | 新入院患者数 | 平均在院日数 |
|---------|--------|--------|
| 13.8名   | 478名   | 10.4日  |

外来患者数

| 1日平均患者数 |
|---------|
| 42.3名   |

## □ 地域医療連携・広報活動

2013年9月14日第18回伏見臨床懇話会

硫化水素中毒時の急性期症状と集団の転換性障害についての経験

京都医療センター小児科 若本陽子 直原俊平、北誠、阿水利紗、豊田有子、石塚哲也、秋山祐一、黒須英雄、河田興

2013年10月12日第16回京都小児科感染症研究会

生後2ヶ月で発症した肺炎球菌性髄膜炎の1例

京都医療センター小児科 阿水利紗 秋山祐一 北誠 豊田有子 石塚哲也 黒須英雄 河田興

2014年3月14日19回伏見臨床懇話会

1.川崎病の頸部リンパ節腫張:診断における落とし穴

京都医療センター小児科 北誠 秋山祐一 阿水利紗 豊田有子 黒須英雄 石塚哲也 河田興

2.硫化水素中毒 その後

京都医療センター小児科 秋山祐一 阿水利紗 北誠 豊田有子 黒須英雄 石塚哲也 河田興

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

| 学会名                         | 演者                              | 演題   |
|-----------------------------|---------------------------------|--|
| 第49回日本周産期・新生児医学会 2013年7月16日 | 河田興、阿水利紗、黒須英雄、江川晴人              | Late preterm 児の管理と栄養方法についての検討              |
| 第40回日本小児臨床薬理学会2013年11月3日    | 河田興                             | 病態と治療(新生児疾患)                               |
| 第40回日本小児臨床薬理学会2013年11月3日    | 河田興、北誠、阿水利紗、豊田有子、石塚哲也、黒須英雄、秋山祐一 | 先天性乳び胸に対する オクトレオチドの安全性に関する考察 ―閉塞性黄疸例を経験して― |
| 第53回日本先天異常学会 2013年7月13日     | 河田興                             | 第13回生殖発生毒性専門家教育講習会 胎児毒性・新生児薬物離脱症候群         |

|  |   |   |
|--|---|---|
| Young Scientist Symposium on New Drug Development 2013年8月31日 | 河田興                                       | Requirements of Clinical Research in Neonatal Infants |
| 第35回日本病院薬剤師会近畿学術集会2014年2月2日                                  | 河田興                                       | 新生児の臨床薬理学   |
| 第40回日本小児臨床薬理学会2013年11月2日                                     | 阿水利沙、河田興、北誠                               | 早期新生児期におけるビタミンK2シロップの投与方法についての検討                      |
| 第12回新生児黄疸管理研究会2014年2月1日                                      | 阿水利沙、河田興、北誠、豊田有子、石塚哲也、黒須英雄、秋山祐一           | いわゆる正常新生児における コニカミノルタ黄疸計による 黄疸管理の検討                   |
| 第22回母乳育児ワークショップ2013年12月7日                                    | 黒須英雄                                      | 24時間以内の頻回直母をどう支援するか                                   |
| 第22回母乳育児シンポジウム2013年8月3日                                      | 黒須英雄、河田興、橋本恵                              | 新生児回診方法変更前後での母乳率の変化                                   |
| 第21回未熟児新生児医療研究会2014年3月15日                                    | 黒須英雄、北誠、阿水利沙、豊田有子、石塚哲也、河田興、秋山祐一           | 社会的ハイリスクの3症例  |
| 第425回日本小児科学会京都地方会2013年12月13日                                 | 齋藤林太郎、秋山祐一、河田興、黒須英雄、石塚哲也、豊田有子、北誠、阿水利沙     | 著明な肝機能障害、重症急性膵炎、DICを来した神経性食思不振症の1例                    |
| 第11回日本小児心身医学会関西地方会2014年1月26日                                 | 若本陽子、直原俊平、秋山祐一、石塚哲也、北誠、阿水利沙、豊田有子、河田興、黒須英雄 | 硫化水素中毒を契機にした身体表現性障害で歩行障害が遷延した中学生                      |

## □ 投稿論文など

| 著書・雑誌名  | タイトル   |
|---|--|
| 豊田有子 小児科学レクチャー3: 1261-1266 2013   | 日常診療に明日から役立つ 小児の内分泌疾患Q & A                                   |
| 豊田有子 日本内分科学会雑誌 89増刊:80-82 2013  | 2013 update proceeding                                       |
| 河田 興 ペリネイタルケア ネオネイタルケア 増刊 147-150:2013                                  | 新生児聴覚スクリーニングはどのタイミングで行うのが適切ですか                               |
| 河田 興 ペリネイタルケア ネオネイタルケア 増刊 151-153:2013                                  | 新生児にビタミンK2シロップを投与しなければならないのはなぜですか                            |
| 河田 興 臨床薬理44:241-243 2013  | 小児薬物療法専門薬剤師の役割と育成に向けて 2. 小児科医師から薬剤師への期待 小児薬物療法認定薬剤師研修制度の立ち上げ |
| 河田 興 ファルマシア50:804-806 2013  | 小児薬物療法の問題点と適正化   |
| 河田興 朴井三矢、藤村尚子 日本小児臨床薬理学会誌 26:41-42 2013                                 | NICUで求められる薬剤師—小児薬物療法認定薬剤師の先に—                                |
| 藤村尚子、朴井三矢、河田 興、阿水利沙、北誠、豊田有子、石塚哲也、黒須英雄、鶴田悟、秋山祐一 日本小児臨床薬理学会誌26:46-49 2013 | 早発型新生児感染症を疑って開始された抗菌薬はいつ中止されるのか?—NICUの処方箋ベースでの調査—            |
| 河田 興、阿水利沙、北誠、豊田有子、石塚哲也、黒須英雄、鶴田悟、秋山祐一 日本小児臨床薬理学会誌26:67-71 2013           | 遺伝性球状赤血球症の乳児における第三世代エリスロポエチン製剤使用経験                           |